

# いちご一会 とちぎ国体 2022

第77回国  
民体育大会  
「いちご  
会」とちぎ国  
体は8日、  
栃木県内で  
17競技が行われた。青森県勢はカヌーの成年男子スラローム・カヤックシングルで矢

澤一輝（西目屋村教委）が4位。ボクシングでは少年男子ライトフライ級の佐々木大斗（青森山田高）ら4人が4強入りした。パドミントンでは少年女子が8強入り。アーチェリー団体予選では少年男女が決勝トーナメントに進出した。ボウリング成年女子の高橋咲紀（青中大）は予選5位で決勝トーナメントに駒を進めた。柔道成年男子

団体、ソフトテニス少年女子団体は共に2回戦で敗れた。岩手県関係では自転車女子ケイリンの小原乃亜（八学大）が6位入賞。重量挙げ少年男子73kg級の四役颯真（久慈工高）はジャック9位、トータル12位だった。9日は各地で18競技が行われる。  
（上村公悟、甲斐大博）  
※記録は青森県、岩手県北関係分

【自転車女子ケイリン決勝】6位となった八学大の小原乃亜（岩手）

宇都宮競輪場



## 小原（八学大）6位 ケイリン

自転車

宇都宮競輪場  
▽女子500gタイムトライアル  
の完結者（青森商高）39秒

135  
▽同ケイリン7、12位決定戦  
①牧田咲子（順大）  
▽同決勝 ⑥小原乃亜（八学大）  
院大

### コース外走行 位置取り反省

○…自転車女子ケイリン  
決勝では、小原乃亜（八学大）  
が4番手でゴールした

ものの、コース外を走行したとして6人中6位に降格。「脚力には自信があったが、位置取りが全然駄目だった」と肩を落とした。勝負どころで小原のすぐ

外側に複数選手が固まり、内側に閉じ込められる格好でコース内側に外れた。大学生生活では同種目初挑戦だったこともあり、「経験不足。脚の力を残したまま終わってしまった」と不完全燃焼の様子だった。  
3年生となる来年は同種目で全日本選手権出場を目指す。「ケイリンをもっと学んで、ナショナルチーム入りとプロ競輪選手を目指す」と今後を見据えた。